

# “花とみどりのネットワーク”の10のプロジェクト群 ～平成27年度～

2015年2月19日とまとめ・その後微修正

「花とみどりの企画かいぎ」(事務局：NPO花とみどり)

- (A) ・ ・ 当面は、NPO 花とみどりが主体的に取り組む。 } あわせて総合的に展開。  
(B) ・ ・ 連携団体の取組を促進。

市助成の申請やNPO花とみどりの方針書などは、全体を視野にいれつつ (A) を中心にとりまとめる。

「企画かいぎ」※では、(A) (B) を含めて議論し、みんなで相互協力しながら進める。

※ 概ね月に1回程度開催 ・ ・ 誰でも参加OK.

## 1 まちなかの野生の生きものの保全

- 生きもの多様性を目指す「生きもの会議」のまちなかでの活動を支えていく。

### 【まちなかの自然の状況】

**たんぼ** ・ ・ ほ場整備が行われてない田園のため、昔ながらの生きものが残存。都市化などの影響で衰退方向。(田園生態系)

**住宅地** ・ ・ 緑の多い住宅街に残存したり都市になじんだ(適応した)動植物が生育(都市生態系)

・ **河川** ・ ・ 山とつながっており自然性が比較的豊か。但し、やや急流(平野部も)で堰に遮断されるためその生息は不安定)

### (1) たんぼ調査 (B)

- \* たんぼ調査を実施(西日本全体にわたる全種対象の本格調査=市民+専門家)  
・ ・ 平成27年春、「生きもの会議※」を人的・財政的に支え市民に広く呼びかけ実施。

### (2) ホタルの保護 (B)

\* ヘイケボタル(箕面などで絶滅危機にあり、安全性が高くなったといわれる新型農薬(ネオニコチノイド系農薬)の影響が疑われている)の調査・研究・「生きもの会議」「箕面ホタルを守る会」の取組に協力。

\* 箕面川のゲンジボタル(昨年、平野区間では激減)の保護ネットワーク(人的・環境的)づくりを応援。

(箕面ホタルを守る会、みのお川を美しくする会、瀬川親水・散策の場をつくる会などの取組を応援)

## 2 花とみどりの地域づくり

- 地域まるごとみどりの取組として重要(効果的・効率的)。面的(地域等)・線的(沿道等)・拠点(公園等)な取組に注目して連携。

### (1) 瀬川地域での“水とみどりの地域づくり” (B)

- \* 石澄川・箕面川合流点付近での河畔林の保全、散策路の整備、地域緑花、ナラ枯れ対策 など。(瀬川親水・散策の場をつくる会)

### (2) 北急延伸を契機とした“みどりの地域づくり” (A)

- \* 「たたき台」(作成中) ・ ・ “民” 主導で。  
\* 来年度=関係者による構想づくり+テスト的な取組(これから組織づくりへ)

### (3) 公園などの緑花の働きかけ (A、B)

- \* 公園・道路沿い用地などの緑花について、花苗の配布(有償)などを通じて自主管理団体をはじめとする住民組織などに段階的に働きかけていく。(みのお園芸ファームなどと調整・連携)

#### (4) モデル的なみどりの地域づくりの見学会 (A)

- \* 適当な時期に、現地などで見学会&説明会を開く。

#### (5) 西小校区での"あじさいの郷 <sup>さと</sup> 夢プロジェクト" (B)

- \* 西小校区の里親システムを軸とした取組を、校区レベルでの緑花活動のモデルとして学び協力していく。

### 3 花&人&街が触れ合う"オープン・ガーデン"の普及

- 花とみどりの魅力資源として、個人宅などの取組の成果を広く普及していく。  
オープンガーデンの取組を"触媒(促進剤)"として、将来的には花とみどりの地域づくり(2-2)・地域コミュニティづくりに発展させる。  
流れ: お庭(クローズド) → お庭のオープン → 住民間の交流 → 地域づくり

#### (1) 粟生外院 バラ祭の開催 (B)

- \* 箕面で最も魅力的なオープンガーデンといえる粟生外院のバラ園で、5/23・24に開催予定。新たに物販などを企画(同祭実行委員会=スタッフ募集中)

#### (2) 花とみどりの街めぐり (A)

- \* 街を巡りながら、住民と親しくなりできるだけお庭を公開してもらうなどする。

#### (3) 地域緑花調査 (A)

- \* 地域(〇〇町〇丁目)などごとに、個人宅の緑花(道から見える=オープンなもの)の実態を把握。とりあえず、来年度は、調査方法の確立を目指す。

### 4 "花とみどり"のPR

- "花とみどり"の取組のねらい=①潤いある環境づくり、②花とみどりから産まれる住民コミュニティなど、③超高齢化を控え若い世代が移り住む魅力的な都市づくりを広め、取組への理解を深める。  
あわせて、みどりを巡る住民間の矛盾の解消(啓発)に取り組む。

#### (1) 『みどりの街しんぶん』の発行・普及 (B)

- \* 「しんぶん」の発行や普及(配布)に引き続き協力していく。  
サポーターなど、花とみどり関係者への郵送なども検討する(NPOとして)。

#### (2) Facebook<sup>®</sup> & HP『みどりの街・みのお』の普及 (A)

- \* 引き続き、広めていく。ブログ記事などコンテンツ(内容)充実がカギ。

#### (3) みどりの内部矛盾に関する啓発 (A)

- \* 落ち葉問題などを取り上げていく。HPやちらしなど。

#### (4) "花とみどり"関連イベントへの参加 (A・B)

- \* 「山とみどりの市民イベント」をはじめ、適切なイベントに参加又は開催していく。想定するねらい(参加効果)としては、一般的PR(パネル展示)に加え、ちらしなどの配布、花苗の配布(有償)、子供たちへの緑花教育、その他(園芸相談など)

検討イベント=NPOフェスタ(ボランティア募集を組み込む)・キッズフェスタ・農業祭など

#### (5) 市のまちなかのみどり支援助成のPR (A)

- \* 引き続きPRを行う(全員で)。  
\* 助成を活用した取組への働きかけ&助成申請のコンサルティングの強化

## 5 花とみどりのエンジンづくり

■ まちなかの“花とみどり”を推進するパワー(けん引力=エンジン)を育てていく。

### (1) 花とみどりの学校の開催 (B)

\* 「講義」+「実習」による「学校」(系統的な人づくり)として協力していく。  
(同学校運営委員会)。

### (2) 市民園芸ファームの形成 (B)

\* “花とみどり”のソフト(体験学習による実践的な人づくり)と、ハード(場=拠点=実習+実験+育苗など)の役割を併せ持つ「市民園芸ファーム」を形成していく(みのお園芸ファーム)。

### (3) みどりのカーテンの普及 (B)

\* 夏場の快適な暮らし・省エネ・景観形成などを目的に、みどりのカーテンの普及をさらに進める。  
\* また、若い世代(学生)との連携のモデルとしても注目していく。  
(みどりのカーテン広げ隊)

### (4) モデル的な花園の形成 (B)

\* 新たな花壇づくりのモデルを目指し、特色&体制づくりを行う。  
(花壇をつくろう会)

## 6 “農の恵み”があふれるまちづくり

■ “農の基盤(ハード)※”を保全・活用し、それらから得られる“農の恵み(ソフト)※”を未来へ向けて豊かに受け取ることができるまちづくりを目指す。

※ “農の基盤”: 田園環境=農空間(農地・ため池・水路・農業集落)

※ “農の恵み”: 田園風景、地産地消型農産物生産(農業)、農体験(学習・ふれあい・癒やし(セラピー)・健康)

### (1) ため池の保全と活用 (B)

\* 比較的多くの残されている箕面のため池の保全と活用を進める。  
その際、農家が支えている農業水利、ため池の果たす風景・環境面などの公益機能の発揮、市民とため池との触れ合いの促進などに十分に配慮していく。

### (2) 有機農業の学習 (A、B)

\* 有機農業(≡低農薬農業※)は食料生産や田園生態系の保全などにとっては望ましいことなので、市民にその意義・可能性・技術について学ぶ機会を提供する。(エコクラブと調整・協力。有機農場見学ツアーなどを含め)  
低農薬農業: キッチンと管理された低農薬というのが長年の国民的な議論と経験からたどり着いた概ねのコンセンサス(完全無農薬を求める声もあるが・・)。但し技術的には、まだ発展途上とみられる。

### (3) 貸し農園の普及についての研究 (A)

\* 市民農園(法令がある)を含む貸し農園の普及については、①法令(農地保全・税金)面・②農家の気持ち・③景観(美しい農園へ)などの面でいろいろ課題があるので、それらのクリアについての研究を進め対応策を確立する。

### (4) 箕面での“農の恵み”があふれるまちづくりのあり方の研究(再掲)

\* まず「北急延伸を契機とした“みどりの地域づくり”」の中で研究。

## 7 まちなかの樹木・樹林の保護

- まちなかのみどりにとって、大きく貢献している大木などの樹木・樹林の保護を進める。

### (1) ナラ枯れ対策 (A)

- \* まちなかのナラ枯れの封じ込めへ向けて、市（公園など）・氏子（神社林）・住民・企業（土地所有者）と協力して、市民の関心を高めつつ取組を広げる。

### (2) 市指定保護樹木・樹林の保護・拡大 (A, B)

- \* 桜のエノキの大木（保護→市の特別助成制度創設）・瀬川のセンダンの大木（伐採→住民によるみどりの地域づくりの議論開始）の教訓から、先行的な取組を進める。（まちなみ会議と調整・連携）

## 8 まちなかのみどりに関するリサーチ

- 地域緑花などをスムーズに進めるためのノウハウなどの研究・開発を進める。

### (1) スマート園芸のテスト的な実施 (A, B)

- \* とりあえず、花壇などの除草について、テスト的取組を進めていく。（みのお園芸ファームと連携）

## 9 次なる基幹的な花とみどりのプロジェクト

- 全市的にみて基幹的な取組となる可能性のある取組について、協力を進める。必要なら、共催などより強力に連携・・・。
- \* 「ホリホック(タチアオイ)を広げよう！」の呼びかけ（牧落の人の協力でタネの配布（世話グループを募集など））
- \* キッズ（子供&親世代(ヤングママ)）へのアプローチ（子供向け“花とみどりの体験”メニューの開発）
- \* 園芸セラピーの研究
- \* 花のアートの普及（華道・洋風のお花アートなど）
- \* 園芸店などの活性化(花とみどりの街づくりの事業者サイドの取組への協力。「フラワー バレンタイン」など)
- \* 公園の放置花壇の緑花の働きかけとグループづくり(公園の自主管理団体等)

## 10 基盤的な取組

### (1) NPO花とみどりの会員募集

- \* 活動の拡大+財政基盤固め
- \* 連携している組織の会員への参加を働きかける。併せて、これらの組織からの個人会員参加を呼びかける。
- \* さらに、広い範囲で会員募集へ。

### (2) 管理費向け自己資金の確保

- \* 助成対象とならない管理費として少なくとも年10万円余が必要（事務所費（約6.7万円）+管理費（少なくとも約3万円））。

#### ① 会費の徴収

(個人会員)・・・年1,000円（今までは無料）

(任意団体会員)・・・会員数に応じて1,000円～3,000円

- ※ 但し、主に箕面市内で花とみどり分野で活動する任意団体について、代表など1人以上の個人会員がいることなどを条件には、免除。  
(NPO法人=5,000円。営利法人=10,000円。従来どおり)

- ② **募金集め**（募金ツールとして、花苗などの生産・配布などの検討）  
（平成26年度：NPO花とみどりの募金実績＝53,246円）。
- ※ バラ祭・園芸ファーム・学校などの募金など自主財源を強化し、**その一部**を寄付してもらうよう働きかける。  
そのための仕組み（共同募金委員会やアイデアなど）を検討。
  - ※ 活動資金についても、助成財団からの助成なども検討していく。

### （3）略称について

正式名：「NPO法人 花とみどりの街づくり・箕面」  
新略称案：「**NPO 花とみどり**」

### （4）助言・相談活動

- ※ **園芸相談**・・・昨年秋（相談員4人）から、規模を縮小してテスト的に継続。  
日常的な相談も継続。

### （5）コーディネート活動

- ※ まちなかのみどり関連の新たな**ボランティア組織**の立ち上げ（市民のボランティア活動ニーズに基づき、人的・資金的な面を含め）に努力。

※ 大幅な予算を伴わないことを条件に、必要な取組を追加する。